八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて
「こっこめ」とよびます。

こっこめ通信 06 2021

「八丈島のワイルドフルーツ」号

正式に梅雨入り宣言は出ていませんが、八丈島ではすっかり梅雨のような天気が続き、山の緑が更にその濃さを増してみずみずしい果実も沢山実っています。最近ではクワの実を食べ過ぎて唇を青くしたお子さんはついぞ見かけなくなりましたが、昔の子供にとってはこの時期は野外に食べるものが沢山みつかる幸せな季節だったのです。ただし、「雨の後は味が不味くなるので食べない方がいい。」と、先輩が教えてくれました。　(T.K.)

美味しいか美味しくないかは貴方次第？

島では、ちょっとした空き地でもカジイチゴやクサイチゴがたわわに実っている光景をよく目にします。私がまだ子供だった頃、多摩川の土手を走り回っては、「おやつみっけ！」とみんなでカジイチゴの実を食べたことを思い出します。みなさんも、子供の頃のワイルドフルーツをつまみ食いした経験、ありませんか？

今回は独断と偏見に満ち満ちた「私が選ぶ八丈島の美味しい実ベスト６」を発表します！！　(M.K.)

ただし、積極的に食べることをお勧めするものではありません。念のため。

※★は島言葉での呼称

1位

ヤマモモ　★よーも　ヤマモモ科

よく熟した果実は、甘酸っぱく、鼻に抜ける独特の香りは爽やかです。その木その木に個性があって、当たり外れがありますが、概ね美味しいです。

2位

クワ　★かのき　クワ科

よく熟した実は、とても甘く美味しい。生食だけでなくジャムにしたり、シロップにすると美味しいし、とてもキレイな色になるので子供達に人気。

3位

カジイチゴ　★あび　バラ科

島では最もよく目にするカジイチゴ。手のひらのような形の葉が目印です。生食のほか、クワ同様ジャムやシロップにしても美味しいです。

4位

ハチジョウクサイチゴ★あび　バラ科

唯一、真っ赤な実がなります。カジイチゴに比べると甘みが薄く感じます。シロップは真っ赤になり一見グレナデンシロップみたいです。

5位

オオシマザクラ　バラ科

アメリカンチェリーに似た感じ。それよりも甘みに欠け、ほろ苦さが口に残る。ビターな感じが大人の味。種が大きく調理には向かないと思います。

6位

ハチジョウイチゴ　★さがりあび　バラ科

花を下向きに咲かせ、実は茎にぶら下がっているようです。実も大きく甘くて美味しいらしいのですが、私は食べたことが無いので６位です。

「アカコッコ」は日本固有のヒタキ科（旧ツグミ科）の鳥で、国の天然記念物に指定されています。
八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

八丈島のワイルドフルーツ番外編

表紙ページでは八丈島の代表的な野生の果物を紹介しましたが、ここでは、八丈島でも知る人ぞ知るマイナーなワイルドフルーツを紹介します。筆者の子供の頃は普通に口にしていたものですが、今では地元の子供達でもこれらが食べられることを知っている子はほとんどいないでしょう。それは幸せな事なのかどうか？　(T.K.)

ヤナギイチゴ　*Debregeasia orientalis*（イラクサ科）

島名：いしよーも

八丈島ではヤマモモのことを「よーも」と呼びますが、ヤナギイチゴの実はその外観も食味も本家のヤマモモとは似ても似つかない気がします。

和名のヤナギイチゴの方はその細長い葉とキイチゴに似た実を着けるところから、解りやすい名前ですね。

しかし島名の「いしよーも」は理解できません。

味は「ほんのり甘いと言えば甘いか？」という程度で、様々なフルーツの味に馴らされた現代人には、積極的に食べたくなるような味ではありません。

ツルソバ　*Persicaria chinensis*（タデ科）

島名：ぬくたち（熟した実は「かゆんかゆん」とも）

じつは、黒熟して食べられる部分を「実」と呼ぶのは正しくありません。多汁で少し酸味があり、まさに果実を思わせますが、これは花時には白い花弁のように見えた「萼」が肥厚して色づいたものです。

なにぶん小さく、わざわざ腰をかがめて採って食べるのはよほどの物好きかもしれませんが、昔の島の子供はよくつまんで口にしたものです。

野鳥はこの実をよく食べるようで、メジロの糞の中からツルソバのタネが見つかることもあります。

イヌビワ　*Ficus erecta*（クワ科）

島名：やまいちじく

こちらの島名はしっくりと腑に落ちますね。

イチジク（無花果）と同じクワ科イチジク属で、実の形もそっくりです。

雌雄異株ですが、雄株にも実のようなものができ、割ってみると中にイヌビワコバチが沢山入っていて驚かされます。

写真は雌株で、黒く熟した実が美味しそうですが、油断はできません。イヌビワの花を受粉させてくれたイヌビワコバチのメスが少なくとも一匹は入っている筈ですから。

探してみると雌株は意外に少ないことがわかります。

イヌマキ　*Podocarpus macrophyllus*（マキ科）

島名：あすなろ

八丈島では数少ない野生の針葉樹です。八丈島では厳密な意味で自生と言える針葉樹はイヌマキの他はクロマツだけ。

八丈島でなぜイヌマキが「あすなろ」と呼ばれるのか、その理由は誰に聞いても判らず、謎です。

標準和名のアスナロは日本固有のヒノキ科の針葉樹で、青森県では「ヒバ」と呼ばれ、建材としても有名です。

裸子植物なので果実といえるものはできませんが、赤く熟した果托の部分がやや甘くて食べられます。

八丈島では神社などにイヌマキの巨木が残っています。

八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きものを観察して季節を感じてもらう目的で「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。季節の変化を感じられる植物は全て記録し、野鳥や昆虫の様子も観察しています。この５月も東京都を含む４都府県に「緊急事態宣言」が発出されていたため、ビジターセンターも臨時休館期間が更に延長され、スタッフだけで実施しました。

八丈植物公園季節調査（2021 年第 5 回）参加者：VC 木下 , 菊池

NO.	和名 （島名）	状態
	草本	
1	アオカモジグサ	実
2	アシタバ	実
3	アワゴケ	実
4	イワニガナ	花
5	ウスベニチチコグサ	花
6	ウスベニニガナ	花
7	ウラジロチチコグサ	花
8	オオアレチノギク	花と実
9	オオシマカンスゲ	実
10	オオニワゼキショウ	花と実
11	オオバコ	花と実
12	オニタビラコ	花と実
13	オランダミミナグサ	実
14	カタバミ	花と実
15	カニツリグサ	花
16	カモジグサ	実
17	ギシギシ	花
18	キュウリグサ	花
19	クサイ	花
20	ケキツネノボタン	花と実
21	ケナシノジスミレ	花
22	コケミズ	実
23	コケリンドウ	花
24	コシロノセンダングサ	花
25	コナスビ	花
26	コメツブツメクサ	花と実
27	コモチマンネングサ	花
28	シチトウスミレ	花と実
29	シマササバラン	花
30	シマテンナンショウ	実
31	シロバナマンテマ	花と実
32	スズメノカタビラ	実
33	スズメノヤリ	実
34	タチイヌノフグリ	実
35	タネツケバナ	実
36	チガヤ	実
37	チチコグサ	実
38	チチコグサモドキ	実
39	ツメクサ	花と実
40	ツルマオ	実
41	トウバナ	実
42	トキワハゼ	花
43	ドクダミ	花
44	ナギナタガヤ	花
45	ニラバラン	花
46	ニワゼキショウ	花と実
47	ヌカススキ	実
48	ヌカボ	花
49	ノチドメ	実
50	ハナイバナ	花
51	ハナヌカススキ	花
52	ハハコグサ	花
53	ハマコンギク	花
54	ハルジオン	花と実
55	ヒナギキョウ	花と実
56	ヒメコバンソウ	実
57	ヒメヨツバムグラ	実
58	フウトウカズラ	花
59	ミゾイチゴツナギ	花と実
60	ムニンキケマン	実
61	ムラサキカタバミ	花
62	ヤエムグラ	実
63	ヤマヌカボ	実
	木本	
1	アカメガシワ	花
2	イタビカズラ	実
3	イヌビワ	実
4	ウツギ	花
5	オオシマザクラ	実
6	オオムラサキシキブ	蕾
7	ガクアジサイ	咲き始め
8	カジイチゴ	花と実
9	クワ sp.	実
10	シチトウエビヅル	蕾
11	スダジイ	花
12	タイミンタチバナ	若い実
13	テイカカズラ	花
14	トベラ	若い実
15	ハゼノキ	花
16	ハチジョウイボタ	蕾
17	ハチジョウクサイチゴ	実
18	ヒサカキ	若い実
19	ヒメユズリハ	花
20	ホウライカズラ	蕾
21	ヤブツバキ	若い実
22	ヤブニッケイ	蕾
23	ヤマモモ	実
	シダ植物	
1	アマクサシダ	新葉
2	イシカグマ	新葉
3	ウチワゴケ	
4	オオイタチシダ	新葉
5	オオタニワタリ	新葉
6	オオニヤブソテツ	
7	カニクサ	
8	スギナ	
9	タチクラマゴケ	胞子葉
10	タチシノブ	胞子葉
11	タマシダ	
12	ナチシケシダ	
13	ナチシダ	新葉
14	ノキシノブ	
15	ハチジョウカナワラビ	
16	ハチジョウシダ	
17	ハマハナヤスリ	
18	ヒトツバ	
19	ヘラシダ	
20	ホシダ	
21	ホラシノブ	
22	マメヅタ	
23	ミゾシダ	新葉
24	ヤマイタチシダ	

今回は、シダ植物 24 種を含む 110 種の植物を観察しました。テングチョウが目立ち始め、アカコッコとシチトウメジロが盛んにさえずっていました。

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、「ホウライシダ」にスポットを当ててみたいと思います。

ホウライシダ　*Adiantum capillus-veneris*

世界中の暖帯に広がっているホウライシダ科のシダ植物で、日本では房総半島以西の暖かい地方に分布しています。

八丈島では、地下水が常にしみ出しているような凝灰岩の崖に多く見られます。

学名の意味を調べてみると「水に濡れないヴィーナスの髪の毛」となりますが、葉の表面がよく水を弾くことと、しなやかに風にそよぐその草姿からの連想でしょうか？

古くから観賞用に栽培されていて、全国的には栽培品から逸出したものも見られるようです。　(T.K.)

2021 6 八丈ビジターセンター プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。
また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
この色の日は ガイドウォークや 特別行事があります		1 07:53 23:13 03:03 15:25	◑ 2 09:00 04:26 16:23	3 00:05 10:52 06:06 17:31	4 00:51 12:56 07:21 18:43	芒種 5 ガイドウォーク 01:31 14:23 08:11 19:48
6 ガイドウォーク 02:06 15:24 08:49 20:43	7 02:39 16:11 09:24 21:30	8 03:11 16:51 09:56 22:11	9 03:42 17:29 10:28 22:47	● 10 04:12 18:05 11:01 23:21	11 04:42 18:40 11:34 23:52	12 ガイドウォーク 05:11 19:15 12:08
13 ガイドウォーク 植物公園季節調査会 05:42 19:52 00:23 12:43	14 06:14 20:31 00:57 13:21	15 06:51 21:14 01:36 14:01	16 07:35 22:01 02:25 14:47	17 08:35 22:51 03:29 15:40	◐ 18 10:03 23:42 04:51 16:42	19 ガイドウォーク 11:55 06:13 17:53
20 ガイドウォーク 00:32 13:37 07:19 19:06	夏至 21 01:18 14:59 08:13 20:14	22 02:03 16:06 09:03 21:15	23 02:46 17:04 09:50 22:10	24 03:29 17:57 10:36 22:58	◯ 25 04:12 18:45 11:21 23:43	26 ガイドウォーク 八丈学講座 「海浜植物観察会」 04:55 19:30 12:06
27 ガイドウォーク 05:39 20:12 00:26 12:49	28 06:23 20:51 01:09 13:31	29 07:08 21:27 01:53 14:12	30 07:57 22:01 02:43 14:51			

イベントプログラム

植物公園季節調査会	植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！ 6/13(日)（13：30～15：00） 中学生以上 ビジターセンター集合・解散　無料　定員：10名 新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため中止となりました
八丈学講座 「海浜植物観察会」	毎月行っている八丈学講座。今月は海辺の植物を観察します。 6/26(土)（13：30～15：00） 中学生以上 底土海水浴場駐車場 集合・解散　参加費：50円　定員：10名
植物公園ガイドウォーク	解説員が植物公園内をご案内します。 毎週 土日及び祝日、（10：30～約1時間） だれでも参加できます。 ビジターセンター集合・解散　無料　定員：10名 6月20日まで中止 その後は未定

ビデオプログラム

10：00～　八丈・海・生きものたち
11：00～　おじゃりやれ 八丈島
14：00～　おじゃりやれ 八丈島
15：00～　おじゃりやれ 八丈島
16：00～　八丈・海・生きものたち
当面の間は上記のみの上映になります

東京都八丈ビジターセンター　2021.6.1　第241号

開館時間　9：00～16：45　　年中無休（入館無料）
〒100-1401　　臨時休館中
東京都八丈島八丈町大賀郷２８４３
電話：04996-2-4811　Fax：04996-2-4888
E-mail：info@hachijo-vc.com
http://www.hachijo-vc.com

編集後記

八丈島ではこのところ梅雨のような天気が続いています。ホトトギスが鳴き始め、島では珍しいカッコウの声も今年はあちらこちらで聞かれます。旅するトンボ、ウスバキトンボも飛び始めました。そろそろ気の早いツクツクボウシも鳴き始めるかもしれません。　(T.K.)